



八広いじめ防止基本方針策定について

令和3年度第2回参観日におきましては、ご多忙の中、かつ、お足元が悪い中、多数ご来校いただきまして、本当にありがとうございます。今回は、運動会や遠足が終わり、少し落ち着いた中での子どもの様子をご覧いただきました。

さて、全体懇談会の中で、今年度の教育活動について説明させていただいた後、八広いじめ基本方針の策定についてご説明させていただきました。この方針は、いじめ問題をはじめとした自殺問題や長期欠席問題など、今日児童生徒を取り巻く問題の解消と日々の不安解消に向け、地域や保護者の皆様と連携して、連続した見守りを行うことを目指したものです。

以下、八広いじめ防止基本方針の概要をお知らせいたします。なお詳細につきましては、ホームページをご覧ください。何かご意見等ございましたら、広野小学校までお知らせください。

はじめに

昨今のいじめに対する考え方の変化や児童生徒の自殺に対する認識、令和2年度八広コミュニティ・スクール協議会における「八広の子ども像」決定を踏まえ、子どもの安全や安心を脅かす、いじめや自殺の問題についても、地域全体のものとして認識し連携協働が必要であると考え、このたび、小中学校の方針を合わせた「八広いじめ防止基本方針」を以下の通り策定する。

いじめの防止等に関する基本的な考え方

(1) いじめの定義

「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等、当該児童生徒と一定の人的関係^(※)にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」

(※)「一定の人的関係」とは、学校・学級や部活動、塾やスポーツ少年団など、学校や市町村の内外を問わず、当該児童生徒と何らかの関係がある児童生徒を指します。

(2) いじめに対する大人がもつべき意識

- ・ いじめはどこでも起こりうるものであること
- ・ いじめは人権侵害であり、決して許されることではないこと
- ・ 解消に向け、協力して取り組んでいかなければならないこと

いじめの未然防止に向けた取組

いじめの未然防止に向け、地域や家庭、学校が連携しそれぞれの立場で、いじめが起きにくい環境やいじめを許さない環境づくりを行っていく必要がある。

- ・ 安心できる場づくり
- ・ 相談できる場づくり
- ・ 自己有用感を育む場づくり
- ・ 他者理解を進める場づくり
- ・ 児童生徒理解に関わる相談窓口の周知
- ・ 大人対象のいじめの事例等の周知と研修
- ・ 八広コミュニティ・スクール協議会における情報交換や共通行動についての話し合い

いじめの早期発見・事案対処の在り方

(1) 早期発見と情報の共有

「こんなことぐらい。」と見過ごすことなく、日頃より地域や保護者、学校による児童の観察を行い、些細なことでも情報の共有を行う必要がある。

- ・出来事（見かけた、聞いた）の共有
- ・ちょっとした雰囲気や違和感に関する共有
- ・日常のささいな変化に関する情報の共有

(2) 事案対処

該当児童生徒在籍校が中心となり、連携をとりながら、提供された情報をもとに、当該児童生徒とその保護者のプライバシーに配慮しつつ、事実確認等の対応を行う。

(3) いじめの調査

小中学校で行い、その結果は、情報を公開し共有する。

- ・児童生徒対象いじめアンケート調査 6月、11月、1月

※上記以外にも、必要に応じて学校独自で実施することもある。

いじめ発生時における取組

いじめを認知した場合は、速やかに小学校では「いじめ防止対策委員会」、中学校では「生徒指導特別委員会」を開催し、第1に被害者を守る視点に立ち、学校組織として全力で対応に当たる。

重大事案に対するいじめ対応

いじめに関する重大事案が発生したときには、関係諸機関と連携しながら、早期解決に向け、小中学校とも、上記校内体制下で取り組む。

※重大事案とは、「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認める」事案のことをいう。

※重大事案発生後は、その後の経過を注視するとともに、対応の検証を行う。

その他

○ 八広いじめ防止基本方針を策定又は見直す際には、いじめの防止等に関する考え方を共有しながら、学校の取組を円滑に進めていくため、八広コミュニティ・スクール協議会をはじめとした、保護者、地域住民、関係機関等の参画を得て進めていく。

○ 地域全体でいじめの防止等に取り組むため、今後児童生徒の意見も取り入れ、より分かりやすい基本方針となるよう努める。



軽トラックを寄贈していただきました

先日、「学校敷地の作業に使ってください。」と、ヒロノ製作所の藤森 秀男さんが、軽トラックを寄贈していただきました。合わせて、軽トラックに網を引くことができる装置も付けていただきました。

藤森さん、本当にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

